

令和3年度 大阪府立茨木支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時	令和3年3月1日（書面にて審議）
参加者	＜協議会委員＞ 6名 ＜茨木支援学校＞校長 准校長 事務長 教頭2名 指導教諭 教務部長 首席3名 部主事3名
主なテーマ	学校運営協議会 会長・副会長の選出について 令和3年度学校経営計画について
協議内容の概略	1 令和3年度 学校経営計画評価について 2 令和4年度 学校経営計画（案）について 3 令和3年度 第2回授業アンケートについて 4 令和3年度 学校自己診断アンケートについて 5 意見書について 6 その他 ※「新型コロナウイルス感染症」対策として、書面審議の形式で実施。

1.【令和3年度 学校経営計画評価について】

<ul style="list-style-type: none"> ・計画を基とした適切な学校運営の成果が現れていると思います。 ・今更ながら、重点目標から具体的な取り組み計画そして評価指標とその全てが具体的に数値目標も掲げられており、自己評価がわかりやすい。そうした中で、評価がほぼ達成されていることが素晴らしいことと思う。 ・（1月26日時点）校内クラスターの発生や休校がなかったということは色々な理由はあると思うが、教職員の努力が一番だと思う。 ・このコロナ禍の中でも、守りだけでなく、攻めの新しい取り組み（全コースの通学バスをリアルタイムで見られる体制づくりとか）も行われている。特に対面授業が困難になった場合のみならず、これからはICT機器の活用が有用であることが実証された。そして今後ますます教職員個人の情報処理能力の向上が求められるように思う。学校全体で能力向上に取り組んでいただきたい。また情報格差という言葉があるように、児童生徒の家庭環境にも配慮願いたい。 ・緊急時対応事故、食アレに関する重大事故0件、教職員の努力の賜物です。 ・教員の多忙さがマスコミで取り上げられ、教員を志望する学生が減少しているとされています。是非今まで以上に職場環境を改善いただくため、一斉退庁日やノーミーティ

ングデイの数値目標を掲げ実行されるように願っています。

- ・新型コロナ感染拡大に対し、予防対応をしつつ学校経営計画に沿って努力実施されていたことは、高く評価します。

2.【令和4年度 学校経営計画（案）について】

- ・令和3年度の成果を受けて、より具体的な目標設定による計画作成になっていると思います。
- ・口頭でのご説明がいただけない分、小・中学部と高等部の計画（案）のどこが一緒にどこに違い（特色）があるのかを探るのが難しかったです。高等部には4の（3）（4）があるということでもよろしいでしょうか？であれば、4（4）（イ）の「取り組み内容に磨きをかける・・・」については具体的な表現にしていただけたら内容がわかりやすいと思いました。
- ・GIGAスクールの実現への体制整備、丁寧な説明と共通理解を基にして校長等リーダーの強いリーダーシップに期待します。
- ・個人情報の取り扱いについては、表記されているように、具体例・ヒヤリハット事例を共有することが共通理解や啓発につながるように思います。
- ・医ケアに関する事故・緊急対応重大事故・食アレ重大事故ゼロ是非達成願います。
- ・地域の学校の支援教育力の向上は支援学校の大きな柱です。対応件数30件以上是非続けていただきたいと思います。
- ・新しい生活様式にあわせたというキーワードは従来の交流・共同学習の進展に不可欠な観点だと思います。是非多様な交流方法を相手校とも相互に検討実践につなげてほしいと思います。
- ・キャリア教育の本校での定義や内容等を検討するうえで、学校教育目標や各部の教育目標また従来の個別の指導計画、支援計画や生きる力の中身等の関係性を考えてもらえばと思います。
- ・服務違反、ハラスメント事象、人権侵害事象0件よろしく願います。
- ・働きかた改革の推進よろしく願います。
- ・学校教育の評価は、具体的にすぐ評価できるものではありませんが、令和3年度より継続して改良し、より良い効果を（向上）を願います。コロナ感染、拡大、予防という大きな社会状況により地域も今までの在り方を見直し事業や在り方を考え直す時ではないかと思っています。学校教育、経営も同様ではないでしょうか。

3.【令和3年度 第2回授業アンケートについて】

- ・実施・回収の困難な状況の中、丁寧な集計・分析をありがとうございました。
- ・一部、回答内容と分析内容の記述が混在しているところがありましたが、また、ご修正をお願いします。

- ・回収数は高いに越したことはないと思いますが、一度目標値を定めて公表して授業参観週間を実施してみてもどうでしょうか。現れた結果を評価するのと、目標に対する結果評価では少し変化があるかも知れません。保護者、教員それぞれにいい効果が現れることを期待してのことですが
- ・授業内容の偏りや重複は起こることはわかっていますが、児童生徒の発達段階から考えられた内容となると悩ましい問題ではあると思います。ただそれでも個にあった指導という観点から教員の役割分担を工夫したりする余地はないのかと思います。
- ・アンケート回収率がもっと上がるように、いい対策があればと思います。
- ・授業内容等の所で、カリキュラムで「数を数えること」「形」のことしか学習させてもらえないのか……という意見がありましたが、保護者と学校との意見共有（子どもの将来について）ができてないのでは。

4.【令和3年度 学校自己診断アンケートについて】

- ・教職員アンケート18と19に肯定比に少し差があります。これは当初より指導計画の方が身近で授業計画の方が慣れがなかったのでしょうか、軽重があったのでしょうか。
- ・20も少し不可解です。学校は最善を尽くしていると思いますが肯定比率が低いように思います。先生方がどういうことでそう思っておられるのか予算を伴うことは予想されますが、すぐに改善でき肯定比率アップにつながることもあると思っています。
- ・保護者アンケート7は分析通りだと思います。昨年度と比べて本年度は日々様子をホームページ等で何回も伝える必要がなくなったためだと思います。そのことは保護者も理解されていることだと思います。
- ・教職員アンケート28も少し気になります。次年度から新学習指導要綱へ移行されるということなので、当然その中身は気になるころだと思います。控え目に回答されたのだと思っています。
- ・子どもたちの人権を守る学校組織の強化教職員アンケートと生徒アンケートの肯定率との差について分析されていましたが、他校でも同じようなことがありました。生徒アンケート回答の「わからない・不明」について、先生方が誘導にならないように気をつけながら生徒に内容を聞き取るなど、生徒の困っている状況の把握方法をご検討いただけたらありがたいと思います。

5. 意見書につきましては、令和3年2月26日現在では提出はありませんでした。

6.【その他】

- ・本年度もなお厳しい状況の中での学校運営であったと拝察いたします。校長先生、准校長先生をはじめ教職員の皆様のご努力には、大変感謝いたしております。
- ・来年度は従来通りの運営協議会であればと思っています。
- ・全ての事項を子ども、保護者、教師がバッチリ一致共有には難しいと思いますが、出来るだけ色々な方法で丁寧に取り組んで頂きたいです。